

FORWARD

第27期年次報告書

平成19年3月1日から平成20年2月29日まで

特別対談

代表取締役社長 立木真昭×原田総合教育研究所所長 原田隆史

**社会で求められる
「自立型人間」の育成をめざして。**

クローズアップ TOPΣ

新コアブランド紹介/Vol.1

株式会社 **京進**
KYOSHIN CO.,LTD.



代表取締役社長
立木貞昭

原田総合教育研究所所長
原田隆史

「学力と人間性の向上」を教育理念に、 社会で求められる「自立型人間」の育成をめざして。

いま、家庭教育でも学校教育でも、教育のテーマは「子どもたちの自立」です。「自立型人間の育成」に取り組んでこられた原田先生を迎え、当社との共同開発によるリーディングプログラムについて語っていただきました。

「強いところを育てる」実践的プログラム誕生。

(立木)

京進は、開設以来、「学力と人間性の向上」を教育理念に、生徒に対しては、「目標を持とう！目標に向かって努力しよう！礼節をわきまえよう！」という教室訓を掲げ、社会で求められる自立した人材の育成に取り組んでまいりました。そのよ

うな中、陸上競技での達成体験を通じて自立型人間の育成を行ってこられた原田先生と出会い、その教育にかける熱い想いに共感するとともに、これまで日本にはなかった独自の経験から編み出された実践的かつ体系的な教育手法に感動しました。また、現在は200社以上の企業教育でも実践し、成果

を実感していると伺いました。そこで、京進の今までの取り組みをより体系的に実践するために、是非にとお願いをし、原田先生のご指導の下、「人間性の向上を図り、自立した人間を育成するためのプログラム」を共同開発しました。この4月から中学生向けのリーディング授業を開始しました。

無名の陸上部を7年間で13回日本一に。

(原田)

大阪市内の公立中学校3校で、延べ20年間、保健体育を教えながら、生活指導主事として全校生徒の指導や陸上競技部の指導を行ってきました。スポーツ指導を通じて、ひとりでも多くの才能を伸ばし、卒業後もやる気があって、人の配慮ができる子供たちを育成したい…問題のある教育現場の中で、理想の教育指導の解を求めて、試行錯誤を繰り返してきました。教師歴半ばを過ぎて、ようやく「自立」「自立型人間」という目指すべき

育成像が見えてきました。また挨拶や礼儀、生活習慣と学力・競技成績との関係など多くの気づきがあり、子供たち自身が簡単なフォーマット化することを通して、長期目標を自分で書いて貼り出す今日のリーディングの原型がつけられました。そして教師歴も後半になって、教育環境が特に厳しいといわれる学校への転任が、その後の人生を大きく飛躍させる契機となりました。およそスポーツには縁も理解もない、厳しく成果だけが問われる環境で考えたのが、歴史上の偉人やスポーツの名監督など世の中で成功者といわれる人なら、どうするだろうかということでした。共通していたのは、明確な目標を立てる、心が強い2点でした。目標設定というストーリーを描く作戦地図と心を強くする両面を合体させることで、あの長期目標設定用紙ができあがりました。子供たちのそれぞれのストーリーを描いて、夢に近づくための作戦プラス実践により、見えない心がより強く、より磨かれる成功の方程式を確立。無名の公立中学校の陸上部から7年間で13回の日本一輩出という奇跡につながりました。



プログラム監修

原田 隆史先生 Takashi Harada

原田総合教育研究所 所長 東京・京都・大阪『教師塾』塾頭 1960年大阪生まれ 奈良教育大学卒業後、大阪市内の公立中学校に20年勤務。保健体育指導、生活指導、陸上競技部の指導に注力。2003年春より天理大学講師として教職志望の学生を指導。スポーツ選手のメンタルトレーニング指導、教育現場再生プログラム構築、企業人材育成支援指導の講演活動など幅広く活躍中。現在京進との共同開発で「リーディング～生徒向け自立型人間育成プログラム～」を構築中。

著書紹介 / 「大人が変わる生活指導」「本気の教育でなければ子どもは変わらない」「カリスマ体育教師の常勝教育」「成功の教科書」 他

リーディングで身に付く7つの力

伝える力

描く力

行動する力

態度力

改善する力

係わる力

シェアする力

(立木)

今回開発した自立型人間育成プログラムは、当社が長年にわたって培った学力向上のスキル・ノウハウと原田先生が企業教育で多くの成果を出されている「態度教育」と呼ばれる人間性向上のプログラムを融合させた、いわば最強の「夢・実現のプログラム」です。一人の落伍者も出さないをキーワードに、大きな夢（目標）を達成するために、学習だけでなく生活習慣も含めて、小さな目標を設定し、達成経験を積み重ねる中で、自信を深める仕組みが特徴です。4月からのリーチング授業では、教科とは別に、リーチングそのものの授業を設けています。研修を受けた講師や社員がテキストに基づき、段階を追って半年間、全14回シリーズで展開します。今回は、まず中学生を対象に授業を行います。来年以降、小学生の高学年や高校生部門にも広げていく予定です。

(原田)

リーチングのシステムでは、まず「将来何をしたいのか」、「どんな人間になりたいのか」、自分の夢や目標について、鮮明なイメージを持っていただくことを第一のポイントに考えています。次に、「心のコップを上向き」にすること。つまり、まじめで素直であるための時間厳守、礼を正すための、しっかりとした挨拶を行うことで能動的な自分を養成していきます。そして生徒に対して塾の講師や親が、関わりを増やして、心の元氣、やる気をサポートする点にも留意しています。最後に、結果が出るまで期待を待ってあげることも大切だと考えています。こうした考え方を基本に、自分の夢（目標）の実現に向けて、毎日を大切に過

充実の京進オリジナル教材



▲夢をシートに描く「ドリームツリー」



▲できることの継続で心を強くするための
「ルーティンチェック表」



▲目標を設定し、達成のための要素を書き出す
「リーチング目標設定用紙」

子供たちの「心・技 バランスよく伴

ごす習慣を体得して欲しい。こうした願いから、「心・技・体＋生活」に着目し、これらの質を高めていくスキルが習得できるプログラムを開発するにいたりました。

生徒も先生も、ともに成長。

(立木)

リーチングで一番大切なのは、自分自身を変えることです。もちろん教える側の講師の皆さんには生徒を変えていただかないといけませんが、その前にまず自分自身が実践する、自分で自分を変えていく、それが最も大切なことです。生徒の皆さんはそんな教える先生が変化する姿をしっかりと見つめています。京進のひとりひとりが、自分を知り、将来の夢を描き、毎日の習慣を見直し、目標達成に向けて、気持ちを





▲1回の授業に1冊。中学生の立場でよく理解できる“テキスト”

◀今日の自分を振り返り、明日に向かって改善する“リーチング日誌”



生徒発表資料

「体+生活」の質を、 ばすことが大切。

一つにして、行動を起こす。そこから今後は、生徒に対して自分の経験に基づいて実践したことを色々な形で話していくことが今回のリーチングプロジェクトの成功につながっていると考えています。

(原田)

夢を描きなさいとは、世の中の誰もが言うのですが、その描いた夢を実際に形にする指導というのは世界中どこにもなかった。地方の一公立中学校の陸上競技部の自立型人間育成手法としてスタートしたリーチングというプログラムが、今や学校教育は言うに及ばず、多くの一流企業の企業教育に取り入れられ、あらゆる業種に広がっている理由もそこにあります。そしてその活躍の範囲は、現在では国内だけでなく、中国・韓国など、集団教育を旨とする儒教圏と呼ばれる東ア

ジア全体へ急速に広がりを見せています。

(立木)

企業が元気になるということは、社員が元気になるということ。今回のプロジェクトでは、リーチング授業を受けた生徒が変わり、京進の教育システムが良くなっていくというのは当然ですが、まず、社員が元気になる。社員が燃えて、社員が変わること。

自分自身の人生をしっかり考えて、自分の目標を高々と掲げる、そういう気持ちになることが一番大事だと考えています。世のため人のためになることを目標に掲げることで、自分の力も湧いてくると同時に、周りも応援してくれる。それによって、自分の夢や目標が実現できてくる。リーチングを導入することで、京進はもっともっと強い企業に生まれ変わります。いい企業に進化して行きます。そんな新しい変化に向けて素晴らしいスタートを切ったと確信しています。

リーチング授業のステップ

- 14 発表会
- 13 発表の準備
- 12 自分をコントロールする
- 11 準備力・行動力・改善力を身につける
- 10 リーチング目標設定用紙を書く(2)
- 9 リーチング目標設定用紙を書く(1)
- 8 ドリームツリーを発表する
- 7 ドリームツリーをつくる
- 6 ドリームシートで夢を描く
- 5 夢の4つのポイント
- 4 自己紹介シートを描く
- 3 好き・得意・長所に気づく
- 2 心の栄養ストローク
- 1 オリエンテーション



顧客創造と感動創出・従業員の自立と成長

27期は、「質にこだわる」という年度方針のもと、引き続き内部充実とひとりひとりを大切にしたい指導、顧客満足度向上に努めました。28期も引き続き、「安全への取り組み」「経営品質向上」を経営課題として、目標数値を掲げ、その達成に取り組みたいと思います。また、年度方針として「自立型人間育成プログラム～リーチングを柱にした顧客創造と感動創出・従業員の自立と成長」を掲げています。リーチングとは、『子どもたちが社会に出たとき、自分の夢（目標）を実現（成功）して欲しい。そのためには、「将来何をしたいのか?」「どんな人間になっていきたいのか?」を考え、その実現に向かって、毎日を大切に過ごす習慣を体得して欲しい。』そのような願いから、「心・技・体＋生活」に着目し、これらの質を高めていくスキルを習得できるよう開発したプログラムです。創業以来「学力と人間性の向上」を教育理念に掲げ、その実現に取り組んでまいりましたが、今後、より体系的に実践することで、より高い顧客満足と従業員の成長を図りたいと思っております。

27期の業績

合格実績の結果としては、全国屈指の難関校である洛南高校へ10年連続最多合格者数を確保したのをはじめとして、その他の私立中高、地域の有力公立高校でもトップ合格数を維持することができました。また、大学入試では、東大・京大で47名、国公立大学現役合格で619名という結果を残すことができました。

教室展開については、小中部で5校の新設開校を行いました。順調な集客により第4分校まで設置していた高校部TOPΣ京都駅前校は、京都駅前に収容人数1,000名規模の専用自社ビルを建築、リニューアル移転をし、サービス提供を開始しております。また、個別指導教室「京進スクール・ワン」のフランチャイズについては、11校が新設開校、2校をFC事業部への直営化、1校を閉鎖し、合計66校となっております。

生徒数については、集客が計画通りに進まず、前期比99.1%となりました。その結果、当期の売上高は12,162百万円（前期比0.8%減）、経常利益151百万円（同55.3%減）となりました。当期純損益につきましては、減損損失205百万円の計上等により134百万円の損失（前期当期純利益101百万円）となりました。なお、減損損失に関しては、4校の移転を含め28校の建物等について計上処理を行ったものです。

配当につきましては、当期純損失を計上したことから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。株主の皆様には、誠に申し訳なく、お詫び申し上げます。今後、中期事業計画の遂行により収益基盤の再構築を図り、早期に復配を実現できるよう尽力してまいります。



クローズアップ TOPΣ

新コアブランド紹介 / Vol.1

難関大学現役合格のトップブランドを目指す



TOPΣ 京都駅前校

TOPΣは、京進高校部の中で難関国公立大学への現役合格に的を絞った最強の進学塾です。昨年10月には、開校以来10年、多数の東大・京大現役合格者を輩出してきた最も伝統のある京都駅前校が、収容人数1,000名を擁する、8階建て、TOPΣ専用ビルとしてリニューアル開校。現役生のニーズにマッチした講座提供や快適な学習環境の提供など、環境や体制を整えて、学習塾業界をリードするハイレベルな授業を実施してまいります。

3つの強力サポート体制でバックアップします。

TOPΣには、自らも成長したいと願う学力の高い優秀な講師陣に加え、学習法や進路指導を総合的にサポートする担任制度、難関国公立大学に自らも通う京進OBが親身に相談に応じるチューター制度など大手予備校とは異なる、現役高校生に特化したきめ細かなサービスで、難関校の現役合格を強力にサポートします。「人が育てられる・人が集まる」京都駅前校にぜひご期待ください。

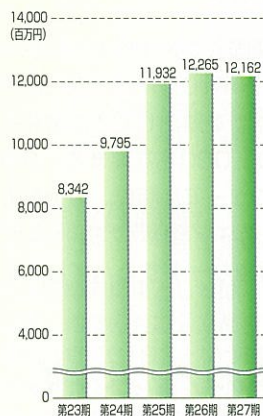
TOPΣ 京都駅前校 校長 岡田直也



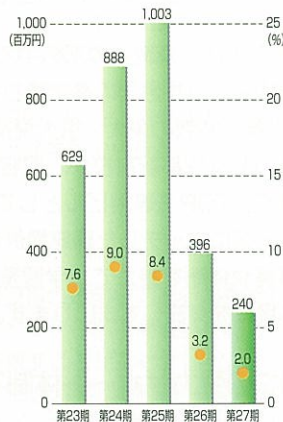
関西、東海地区に
4校を展開！

TOPΣでは、京都駅前校を中心に、滋賀県に草津校、大阪府に高槻校、愛知県に千種校を展開。今春3月には、京都地区に白梅町校を新設。今回の京都駅前校の拠点整備を機に、今後さらに多教室展開を加速する予定です。

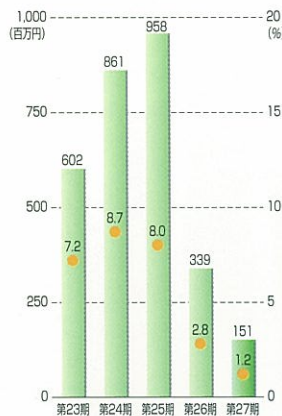
■ 売上高



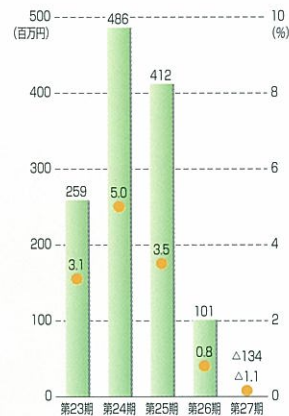
■ 営業利益・売上高営業利益率



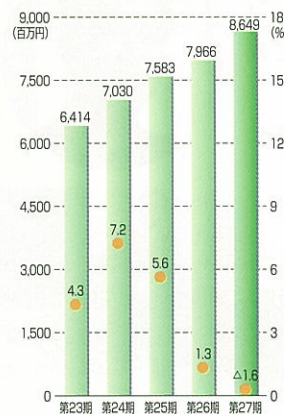
■ 経常利益・売上高経常利益率



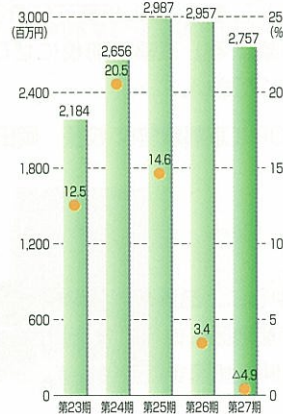
■ 当期純利益・売上高当期純利益率



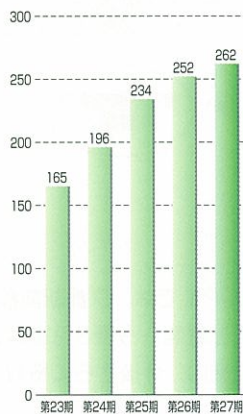
■ 総資産・総資産当期純利益率 (ROA)



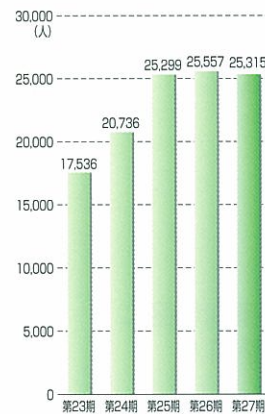
■ 純資産・純資産当期純利益率 (ROE)



■ 事業所数推移



■ 生徒数推移



ソフト面の安全対策の徹底に、全社を挙げて取り組んでいます。

27期は、決められた安全対策を、全社的に徹底することを基本として取り組みました。設備等のハード面での対策は完了しており、特に従業員に関するソフト面での対策に注力しました。

■ 「ストレスチェック」の回収とフィードバック

社会的にも問題となっているストレスから来る従業員の精神的な問題を解消するため、従業員を対象とした「ストレスチェック」を実施しました。27期は4,036名の回収とフィードバックを行っています。フィードバック結果については、上長が必要に応じて面談を実施し、ストレスへの対応に努めております。

■ 講師対象の安全とコンプライアンス研修

小・中学生を対象とした集団学習を行っている小中部では、27期に京都・大阪・滋賀・愛知・奈良で講師368人を対象とした集合研修を実施しました。

■ CS委員会

お客様からいただいた声等をもとに、全社的にCS委員会を実施しています。例えば、教師からの発言が生徒に与える影響をテーマとし、全校で取り組んだ部門もあります。今後も、いただいた声を活かし、新たなテーマを設定して、毎月のCS委員会で取り組みを進める予定です。

■ 講師へのメッセージの配信

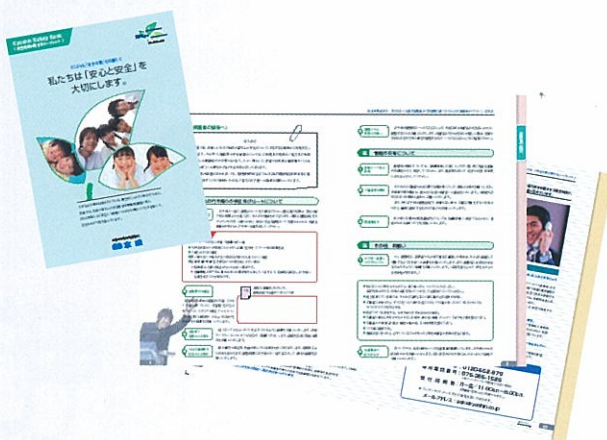
組織の価値観を伝え、コンプライアンス遵守や安全面での取り組み強化をお願いするため、経営トップからのメッセージをVTR録画し、研修で利用するとともに、レポートを提出してもらいました。また、2ヶ月に1回、文書でのメッセージもお届けしています。今後も継続的に取り組んでいきたいと思っています。

■ 普通救命講習

消防署で実施している普通救命講習について、27期は、まず、校・教室を統括する担当者から受講を進めました。教室内で生徒に何かあった場合の救急措置や、AEDの使用等、公共の場でも活かせる対処法を学びました。今後は、全社員が受講するよう計画をしています。

■ 安全対策冊子の刷新

別冊となっていた「通塾時の安全についてのお願い」を含め、新たに地震発生時の対応や緊急時の対応などを入れました。さまざまな視点から安全管理についての社会への約束を掲載し、全社を挙げて徹底するとともに、生徒・保護者への注意喚起を呼びかけています。



2008年春合格実績

今春も、全国屈指の難関校へ連続最多合格者数を確保しました。生徒たちのたくさんの笑顔を見るため、夢実現に向けて、今年も邁進します。

■ 高校入試で、圧倒的な合格数No.1の堅持

- 洛南高校 132名<10年連続トップ合格者数> **No.1**
 ※洛南高校は、18年連続京大合格者No.1の高校
- 京都公立トップ高校
 堀川高校探究学科群 62名(定員160名、合格者の2.6人に一人) **No.1**
 が京進生)
- 滋賀県立トップ高校
 膳所高校 132名(定員440名 合格者の3.3人に一人が京進生) **No.1**
 膳所高校特色選抜も44名合格 **No.1**
- 同志社高校 97名 **No.1**
 立命館高校 65名 **No.1**

■ 全国難関中学・高校でも合格を勝ち取りました

灘・開成・ラ・サール・東大寺中高 42名

■ 東海私立中学入試の大躍進

東海・滝中学 133名
 東海私立中トップ6校 323名 **過去最高**
 東海・滝・南山(男子)・南山(女子)・愛知淑徳・愛知

大学現役合格

東大・京大 47名
 大阪大・神戸大・名古屋大 100名 **過去最高**
 同志社大・立命館大・関西大・関学大 1,117名 **過去最高**
 京都産業大・龍谷大・近畿大・甲南大 976名 **過去最高**
 国公立大 619名 **過去最高**

私立中学・高校合格

洛星中・洛南中高 174名
 ※洛星高校は2名の欠員募集のうち1名は京進生が合格、他6名が内部進学

同志社系中高 268名
 立命館系中高 351名
 京都女子中高 125名
 東海・滝中高 169名



公立中学合格

京都府立洛北高附属中	16名(合格占有率20.0%)
京都市立西京高附属中	18名(合格占有率15.0%)
京都府立園部高附属中	5名(合格占有率12.5%)
滋賀県立守山中	19名(合格占有率23.8%)
滋賀県立河瀬中	31名(合格占有率38.8%)
滋賀県立水口東中	32名(合格占有率40.0%)

公立高校合格

彦根東高校	185名(合格占有率51.4%)
滋賀県立進学高校9校	798名(合格占有率28.9%)
嵯峨野高校京都こすもす科	57名(合格占有率28.5%)
西京高校エンタープライジング科	43名(合格占有率26.9%)
京都府公立高校Ⅱ類	217名(合格占有率 8.9%)

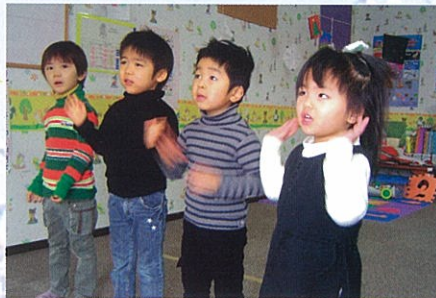
- ※ 1. 合格実績は、小中部、高校部、個別指導京進スクール・ワン、家庭教師京進プリバタ、ネット学習京進e-DESの実績です。
 2. 合格者数には、内部進学者を含んでおります。
 3. 「No.1」は、当社調べによります。
 4. 「過去最高」は、当社合格実績の比較によります。

Topics 1.

年長で英検2級合格！英検合格52名（受験者81名、合格率64%）

英会話事業部「ユニバーサルキャンパス」において、年長で英検2級合格者が誕生しました。そのほか、小学4年生・高校2年生が2級合格を勝ち取りました。

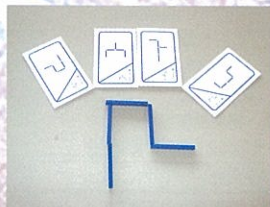
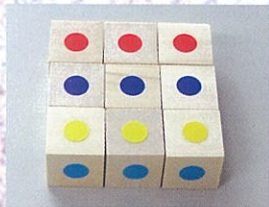
また、去る3月20日に行われたKBS英語スピーチコンテスト本選においても、16名の生徒たちが参加しました。結果、英語暗唱部門で最優秀賞に1名（6歳）、優秀賞に2名（6歳、小学6年生）が選ばれました。



Topics 2.

小学生対象「パズル道場」導入

今年度から小学生を対象に「頭脳トレーニング教室 パズル道場」の授業を開始します。これは、楽しみながら子どもたちの算数のセンスを養成するだけでなく、学ぶことの楽しさを知り、主体性や問題解決能力を身に付けることができる画期的なプログラムになっています。京進では、「学力と人間性の向上」を目指し、生徒の可能性を伸ばすさまざまなプログラムの検討を進めてまいります。



貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成20年2月29日現在)	(平成19年2月28日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,429,621	1,494,518
現金及び預金	698,517	761,858
売掛金	302,137	306,478
商品	98,977	97,752
貯蔵品	14,041	16,360
前払費用	179,781	165,043
繰延税金資産	123,730	132,543
その他	42,208	42,633
貸倒引当金	△ 29,772	△ 28,152
固定資産	7,220,167	6,472,382
有形固定資産	4,736,699	4,072,275
建物	2,739,527	2,012,743
構築物	117,788	131,825
車両及び運搬具	3,731	6,698
器具及び備品	222,837	294,756
土地	1,651,614	1,245,091
建設仮勘定	1,200	381,160
無形固定資産	285,439	267,843
ソフトウェア	218,627	206,388
その他	66,812	61,454
投資その他の資産	2,198,028	2,132,263
投資有価証券	132,064	188,427
関係会社株式	10,000	10,000
出資金	300	300
関係会社出資金	93,179	87,641
長期貸付金	66,972	12,378
関係会社長期貸付金	—	55,735
長期前払費用	55,523	74,873
破産更生債権等	84,404	—
繰延税金資産	600,481	468,934
会員権	36,200	36,200
敷金・保証金	1,201,035	1,247,295
その他	91	76
貸倒引当金	△ 82,225	△ 49,600
資産合計	8,649,789	7,966,900

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成20年2月29日現在)	(平成19年2月28日現在)
(負債の部)		
流動負債	2,738,715	2,635,430
買掛金	61,611	66,117
短期借入金	950,000	969,000
一年以内償還予定社債	72,000	—
一年以内返済予定長期借入金	659,157	593,054
未払金	502,844	509,003
未払費用	84,013	75,379
未払法人税等	52,984	35,872
未払消費税等	29,928	79,074
前受金	51,042	41,887
預り金	33,389	30,915
賞与引当金	214,099	211,577
その他	27,645	23,548
固定負債	3,153,427	2,373,993
社債	592,000	200,000
長期借入金	1,474,549	1,228,986
退職給付引当金	879,610	750,349
役員退職慰労引当金	196,256	187,057
その他	11,012	7,600
負債合計	5,892,143	5,009,423
(純資産の部)		
株主資本	2,731,488	2,908,416
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
資本準備金	263,954	263,954
利益剰余金	2,141,036	2,317,965
利益準備金	41,000	41,000
その他利益剰余金	2,100,036	2,276,965
任意積立金	1,310,000	1,310,000
繰越利益剰余金	790,036	966,965
自己株式	△ 1,395	△ 1,395
評価・換算差額等	26,157	49,060
その他有価証券評価差額金	26,157	49,060
純資産合計	2,757,645	2,957,477
負債・純資産合計	8,649,789	7,966,900

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成19年3月1日から 平成20年2月29日まで)	(平成19年3月1日から 平成19年2月28日まで)
売上高	12,162,779	12,265,785
売上原価	8,924,657	8,891,525
売上総利益	3,238,122	3,374,260
販売費及び一般管理費	2,997,492	2,977,767
営業利益	240,629	396,492
営業外収益	18,239	16,104
営業外費用	107,009	72,641
経常利益	151,860	339,955
特別損失	245,812	63,203
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	△ 93,952	276,752
法人税、住民税及び事業税	148,108	238,742
法人税等調整額	△ 107,080	△ 63,316
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 134,981	101,326

貸借対照表のポイント

- 有形固定資産が前期に比べて664,423千円増加しました。高校部TOPΣ京都駅前校ビル取得資金及び本社増築等によります。
- 固定負債が前期に比べて779,434千円増加しました。高校部TOPΣ京都駅前校ビル取得資金と本社ビル増築資金を、社債及び長期借入金で調達したことによります。

損益計算書のポイント

- 生徒数は、集客が計画通りに進まず、前期比99.1%となりました。その結果、当期の売上高は12,162,779千円(前期比99.2%)となりました。
- 減損損失205,078千円を特別損失に計上しています。4校の移転を含め28校の建物等について計上処理を行ったものです。

株主資本等変動計算書 (平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途 積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計
平成19年2月28日 残高	327,893	263,954	263,954	41,000	1,310,000	966,965	2,317,965	△ 1,395	2,908,416	49,060	49,060	2,957,477
事業年度中の変動額												
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△ 41,947	△ 41,947	—	△ 41,947	—	—	△ 41,947
当期純損失	—	—	—	—	—	△ 134,981	△ 134,981	—	△ 134,981	—	—	△ 134,981
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 22,902	△ 22,902	△ 22,902	△ 22,902
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 176,928	△ 176,928	—	△ 176,928	△ 22,902	△ 22,902	△ 199,831
平成20年2月29日 残高	327,893	263,954	263,954	41,000	1,310,000	790,036	2,141,036	△ 1,395	2,731,488	26,157	26,157	2,757,645

株主メモ

- 事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
- 定時株主総会の基準日 2月末日
- 期末配当の基準日 2月末日
- 中間配当を行う場合の基準日 8月31日
- 定時株主総会 5月
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

郵便物送付先 大阪東支店私書箱第455号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業

電話照会先 0120-094-777

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行業）

0120-684-479（大阪証券代行業）

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 公告方法 電子公告
(当社ホームページ <http://www.kyoshin.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概況（平成20年2月29日現在）

- 商号 株式会社京進
KYOSHIN CO., LTD.
- 本社所在地 〒600-8177
京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1
Tel. 075-365-1500（代表）
- 創業 昭和50年6月
- 設立 昭和56年4月2日
- 資本金 327,893千円
- 役員 代表取締役社長 立木貞昭
専務取締役 白川寛治
取締役 土坂義高
取締役 高橋良和
取締役 樽井みどり
取締役 福澤一彦
常勤監査役 福盛貞蔵
監査役 中元視暉輔
監査役 尾川宣之
- 従業員 740人
(出向社員10人を含んでおります。)

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kyoshin.co.jp/>



本社 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1
TEL 075-365-1500(代表) FAX 075-365-1511(代表)